

第19回全国中学生弓道大会  
JOCジュニアオリンピックカップ大会

大会出場の手引き

第19回全国中学生弓道大会実行委員会

第19回全国中学生弓道大会、JOCジュニアオリンピックカップ大会が、実施要項のとおり開催される運びとなりました。

本手引きには、日程や注意事項など重要事項が掲載されておりますので、ご熟読の上、大会への参加をお願いいたします。また、大会期間中は常に携行するようお願いいたします。

## 目次

1. 実施要項	3, 4 頁
2. 弓道競技規則抜粋	5 頁
3. 大会スケジュール	6 頁
4. 受付について	7 頁
5. 公開練習／巻藁について	〃
6. 監督会議／事前質問書について	〃
7. 式典について	〃
8. 競技について	8, 9, 10 頁
9. 競技運行について	10 頁
10. 注意事項	11 頁
11. その他	〃
12. 問合せ先について	〃

### 添付資料

1. 監督・選手及び保護者 自己管理事項	12, 13 頁
健康管理シート	14 頁
2. 会場案内・会場レイアウト	15, 16 頁
3. 事前質問書	17 頁
4. 立射・取矢免除申請書	18 頁
5. 選手変更届	19 頁
6. 選手交代届	20 頁
7. 監督変更届	21 頁

## 1. 実施要項

### 第19回全国中学生弓道大会 JOCジュニアオリンピックカップ大会

1. 目的 中学校教育の一環として、中学校生徒に広く弓道競技の実践の機会を与え、技能向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身とも健康な中学校生徒を育成するとともに、相互の親睦を図る。
  2. 主催 公益財団法人全日本弓道連盟
  3. 後援 スポーツ庁・公益財団法人日本オリンピック委員会〔JOC〕・公益財団法人日本中学校体育連盟  
(申請予定) 愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・公益財団法人日本武道館
  4. 主管 第19回全国中学生弓道大会実行委員会 (一般社団法人愛知県弓道連盟)
  5. 期日 令和4年8月8日(月)・9日(火)  
※前日公開練習はなし。
  6. 会場 ドルフィンズアリーナ愛知県体育館  
〒460-0032 愛知県名古屋市中区二の丸1-1  
TEL: 052-971-2516
  7. 競技種目 近的競技
  8. 競技種類 団体競技・個人競技
  9. 競技種別 男子の部・女子の部 (時間割にて男子・女子の分散開催)
  10. 競技内容 的中制(坐射・直径36cm震的)
  11. 競技日程  
8月8日 8:50～ 開会式(男子のみ参加)  
9:45～ 男子団体・個人 予選  
13:45～ 女子団体・個人 予選  
9日 9:00～ 団体 決勝トーナメント  
12:30～ 個人 決勝  
13:40～ 閉会式  
※新型コロナウイルス感染症の影響により式典の縮小ならびに日程の変更が生じる場合がある。
12. 競技方法
- (1) 団体競技
    - 1) チーム編成  
①競技は、両種別とも3人立で行う。  
②チームの登録は、両種別とも監督1名、選手4名以内とし、選手の立順(行射の順番)は参加申込時の登録順とする。
    - 2) 予選  
①両種別とも各自4射2回にて的中数の上位16チームを決勝トーナメント進出とする。  
②決勝トーナメント進出の為の同中競射は、両種別とも各自1射にて総的中数の多いチームを上位とする。なお、1回の競射で順位が決らない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
    - 3) 決勝トーナメント  
①両種別とも各自4射1回のトーナメント法で行う。  
②同中の場合は、両種別とも、各自1射にて、総的中数の多いチームの勝ちとする。  
なお、1回の競射で勝敗が決らない場合は、勝敗が決定するまで繰り返す。
  - (2) 個人競技
    - 1) チーム編成 両種別とも監督1名、選手1名とする。
    - 2) 予選 各自4射2回にて5中以上の的中者を決勝進出とする。
    - 3) 決勝  
射詰競射にて順位を決定し、継続的中数の多い方を上位とする。  
9本目以降は、直径24cm星的を使用する。  
的中を逸した同位者は、直径36cm震的を使用し遠近競射を行う。  
ただし、最上位者(優勝者)を決定する場合は、射詰競射を継続する。
  - (3) 制限時間については大会出場の手引きに記載する。
  - (4) 選手監督の変更及び交代については大会出場の手引きに記載する。
13. 表彰
- (1) 団体競技(両種別共通)
    - 1) 優勝チームに本連盟よりカップ(持ち回り)、賞状及びメダルを授与する。
    - 2) 2位～5位のチームに本連盟より賞状及びメダルを授与する。(3位2チーム・5位4チーム)
    - 3) 技能優秀チームを選考し、本連盟よりカップ(持ち回り)及び賞状を授与する。

- (2) 個人競技 (両種別共通)
- 1) 優勝者に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
  - 2) 2位～8位に本連盟より賞状及びメダルを授与する。
  - 3) 技能優秀者を選考し、本連盟より楯及び賞状を授与する。
14. 参加資格
- (1) 選手及び監督は所属する都道府県弓道連盟が選抜し代表として認証を受けた者であること。
  - (2) 選手は当該都道府県に在住または在学中とする。
  - (3) 両種別とも各都道府県から団体競技は1チーム、個人競技は1名とする。
  - (4) 北海道は両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
  - (5) 愛知県は開催地参加枠として、両種別とも団体競技は1チーム、個人競技は1名増を認める。
15. 適用規則 公益財団法人全日本弓道連盟「弓道競技規則」ならびに大会要項による。
16. 参加料 団体15,000円 個人5,000円
17. 参加申込
- (1) 方法  
所定の様式の参加申込書を本連盟までメールで送信すること。公印は省略する。  
全日本弓道連盟 ➡ 各都道府県弓道連盟 ➡ 参加校 (必要事項入力) ➡  
各都道府県弓道連盟 (参加資格確認) ➡ 全日本弓道連盟 (電子データによる申込受付完了)
- ・参加申込書は本連盟ホームページからもダウンロードができる。
  - ・都道府県の代表となった学校 (チーム) は参加申込の様式に必要事項を入力し、所属する各都道府県弓道連盟事務局に電子データを送信するとともに参加料を納入すること。
  - ・各都道府県弓道連盟事務局は、取り纏めた電子データを次の (3) に示すメールアドレスに申込添書を添えて電子メールで送信すること。
- (2) 注意点: 参加チームは申込に際し、所属地連の締め切り日に十分注意にすること。  
原則として各チームから本連盟に直接申し込み (送金) をせず、地連が取り纏めて行うこと。
- (3) 申込先 E-mail: taikaikanri@kyudou.jp  
※メールの件名を「第19回全国中学生弓道大会申込【都道府県名】」すること
18. 締切日 令和4年7月11日 (月)  
※但し、各地連の日程都合により間に合わない場合、個別対応する。(要事前連絡)
19. 宿泊 宿泊及び弁当に関する斡旋は別途案内する。
20. 注意事項
- (1) 本大会の団体競技優勝及び技能優秀のチームには、次回大会の参加権を与える。
  - (2) 大会参加にあたり、後日都道府県弓道連盟経由で配布の「大会出場の手引き」を確認すること。
  - (3) 弓具、服装について第3控で点検を行う。違反箇所が修正されなければ失権とする。
  - (4) 会場へは、公共の交通機関を利用すること。
  - (5) 参加者を対象に主催者で傷害保険に一括加入するが、参加者各位においてもスポーツ安全保険に加入することが望ましい。
  - (6) 参加者は健康保険証を持参のこと。
  - (7) コロナ禍における大会開催であることから感染防止に努める開催とする。
    - ・「密」を避けることから男子・女子の分散受付・競技とする。開会式は男子選手を代表として実施。
    - ・受付時、監督・選手は添付資料8の健康観察票を提出すること。
    - ・一般入場者入口と選手入口は区別し、一般入場者の観覧席はエリアごととする。
21. 映像の取り扱いについて  
個人が撮影した画像・動画などのインターネット配信等については、撮影者において、被写体となる方の同意を得るなどして、肖像権侵害等の問題を生じないよう、十分に配慮すること。権利侵害の可能性や疑問が残る場合には、他者の権利を尊重して、撮影・配信等中止すること。
22. その他 申込書の提出により、以後の関係資料について下記取り扱いの旨、承諾を得たものとする。ただし、下記(2)の月刊『弓道』・ホームページへの掲載に関しては、本人より不同意の申し出があった場合は、公開を停止する。
- (1) 大会プログラムならびに関係書類への記載 (氏名、所属地連、称号、段位)
  - (2) 大会結果報告として、地連会長宛文書及び月刊『弓道』・ホームページへの掲載 (氏名、所属地連、称号、段位、写真)
  - (3) 報道機関、写真業者等の写真撮影とその掲載等については、主催者は関知しない。  
関係各法例を遵守する義務は、写真撮影者にあることを主張する。
  - (4) 開催当日、台風等の影響により午前6時現在で警報が発令中の場合は開催を中止することもあり得る。

2. 公益財団法人全日本弓道連盟弓道競技規則【平成28年4月1日改定】

(第20条、第21条抜粋)

<p>第20条 〔弓具の規定〕</p> <p>使用する弓具は、伝統的な形状のものでかつ危険を及ぼす恐れのないものとする。</p> <p>(別紙20条 P-16伝統的な弓具図解概要参照)</p> <p>(1) 弓は、日本弓(和弓)とし、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、221cm(7尺3寸)を標準とし、若干の長短は認める。</p> <p>(イ) 握りは、本弰から約3分の1の辺りにある。</p> <p>(ウ) 矢摺籐の長さは、籐頭より6cm以上とする。</p> <p>(エ) 照準のための装置や、矢摺籐に作為的な目印がない。</p> <p>(オ) 材質は、竹・木または新素材(グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(2) 矢は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 長さは、各自の矢束に従い安全な長さとする。</p> <p>(イ) 籐の太さは、直径6mm以上とする。</p> <p>(ウ) 籐の材質は、竹または新素材(アルミ、グラスファイバー、カーボンなど)でもよい。</p> <p>(エ) 羽根は、鳥の羽根を3枚使用し甲矢、乙矢の区別がある。</p> <p>(オ) 羽丈(羽根の長さ)は、近的競技は13cm~15cm、遠的競技は9cm~15cmとする。</p> <p>(カ) 羽山(羽根の高さ)は、5mm以上とする。</p> <p>(キ) 本矧、末矧および筈巻がある。</p> <p>(ク) 筈は、埋込式で筈溝がある。</p> <p>(ケ) 筈は、筈溝以外の機能(蛍光、発光など)を有しない。</p> <p>(コ) 板付はかぶせ式とし、平題形、椎実形あるいは円錐形のいずれかである。</p> <p>(サ) 引込位置などを示す目印や類似のことがない。</p> <p>(3) 弦は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 撚って一本になっている。</p> <p>(イ) 材質は、麻または新素材などでもよい。</p> <p>(4) 弾(ゆがけ)は、次の要件を満たすこと。</p> <p>(ア) 行射では、必ず右手に弾を着用する。</p> <p>(イ) 三つ弾、四つ弾あるいは諸弾のいずれかを使用する。</p> <p>(ウ) 控、帽子および弦枕がある。</p> <p>(エ) 材質は鹿革とする。</p> <p>(5) 補助具など</p> <p>伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他の物を付けてはならない。</p>	<p>20</p> <p>* 弓具については使用目的や利用者の体格や技量などによって様々な種類があり、適切な選択が望ましく、競技の種別によっては大会要項で規定されることもある。新素材の弓具の使用は許容されるが、特に弓、籐、羽根、弦、弾の色彩については、武道の精神に鑑み、伝統的な色・柄が望ましく、けばけばしくないものとしたい。</p> <p>* 競技には日本弓を使い、洋弓を使用しないことを規定したものである。</p> <p>日本弓の標準的長さは221cm(並寸)で、現在は6cm~18cm伸などがあり、また逆に3cm~12cm詰などがあるので、長短を認めることとした。日本弓の特徴は長弓であるとともに、握りの位置は、中心から下で全長の約3分の1の辺にある。したがって「約」として規定した。</p> <p>籐の節は目印と見做さない。ただし作為的に籐の節目が目印となるような巻き方をしてはならない。</p> <p>* 日本弓に洋弓の特殊な形態をした羽根の矢、羽丈の短いもの、羽山の低すぎるものなど、伝統的な形態を損なっているものや鳥以外の材質のものは使用しない。「鳥獣保護に関する法律」を順守し、不法捕獲による鳥の羽根は使用を禁止する。</p> <p>* 中仕掛けに付ける伝統的な「探り(露)」は目印と見做さない。</p> <p>* 矢筈に関し、「筈巻付き被せ式筈」の使用は認める。ただし伝統的な形状でありかつ危険を及ぼす恐れがないことに十分注意すること。</p> <p>* 「諸弾・角入り三本弾」は、控があるものと見做す。中学生・高校生など初心者については「柔帽子、和帽子」の使用を認める。ただし習熟するに従いできるだけ早い機会に弦枕のある弾を使用することが望ましい。</p> <p>* 伝統的な押手補助具としては、押手弾(拇指、人差指の2本指と拇指のみの1本指)がある。</p>
<p>第21条 〔服装の規定〕</p> <p>1) 競技の服装は、弓道衣〔筒袖、袴および白足袋〕または和服〔着物、袴および白足袋〕とする。</p> <p>ただし競技によっては、大会要項で服装を規定できる。</p> <p>2) 下記の大会については男子女子ともに弓道衣〔白筒袖、黒袴および白足袋〕とする。</p> <p>(1) 全日本男子弓道選手権大会</p> <p>(2) 全日本女子弓道選手権大会</p> <p>(3) 全日本弓道遠的選手権大会</p> <p>(4) 全日本勤労者弓道選手権大会</p> <p>(5) 国民体育大会弓道競技会</p> <p>3) 弓道衣にマーク(氏名、チーム名、クラブ名および学校名など)を付ける場合は、筒袖および袴それぞれ1か所のみとし、その大きさは縦横10cm以内とする。</p>	<p>21</p> <p>* 服装の色合いについては、第21条2)と特に大会要項で定める場合を除き定めない。</p> <p>* 筒袖の袖の長さは、肘程度が望ましい。</p> <p>* 弓道衣下の下着は、無地とし、襟付き・ハイネックは好ましくない。</p> <p>* 初心者は、運動服着用を認めるが、前ボタン・前チャックの物は避けること。</p> <p>* 袴は、男子は腰板があるもの、女子は腰板のないものが一般的である。行燈袴は好ましくない。袴の裾は、足踏の姿勢で床面に着かないことが望ましい。</p> <p>* 国民体育大会少年種別の紺袴は大会要項により認める。</p> <p>* 弓道衣に会社の宣伝効果をねらった必要以上の大きさのマークをつけることは好ましくない。</p> <p>しかし、チーム名をつけることは逆に進行状況がわかり、ゼッケン替りになることもあり、また、選手は愛社心も出てくるので推奨したい。</p>

### 3. 大会スケジュール

#### (1) 予選立順の告知

参加申込締切り後、実行委員会にて抽選により決定し、全日本弓道連盟のホームページへ掲載する。

#### (2) 大会日程

	予定時刻			
8月8日 (月)	8:00～ 8:30	開館・男子受付 第2競技場入口にて実施 男子と女子と分散受付。男女とも地域別で受付。		
	8:50	開会式 簡易的な開会式を検討。男子選手のための開催とする。		
	競技	第1会場 (3射場)	第2会場 (3射場)	
	9:45～11:15 (男子)	団体 1回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
		個人 1回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
	11:15～11:45	昼食休憩		
	11:45～13:15 (男子)	団体 2回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
		個人 2回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
		上位16チームを決定。		
	12:00～12:30	女子受付		
	13:45～15:15 (女子)	団体 1回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
		個人 1回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
	15:25～17:00 (女子)	団体 2回目 立順No1～No24	立順No25～No49	
個人 2回目 立順No1～No24		立順No25～No49		
	上位16チームを決定。			
8月9日 (火)	8:00～ 8:30	開館 ・受付		
	競技	第1会場 (2射場)	第2会場 (2射場)	
	9:00～ 9:40	男子団体 1回戦 前半4立	男子団体 1回戦 後半4立	
	9:50～10:30	女子団体 1回戦 前半4立	女子団体 1回戦 後半4立	
	10:40～11:10	男子団体 2回戦 (技能優秀校選考)	女子団体 2回戦 (技能優秀校選考)	
	11:15～11:30	男子団体 準決勝・順位決定戦	女子団体 準決勝・順位決定戦	
	11:30～12:00	昼食休憩		
	12:00～12:30	男子・女子団体 決勝		
	12:30～13:30	男子個人 決勝 射詰め競射 (技能優秀選手選考)	女子個人 決勝 射詰め競射 (技能優秀選手選考)	
	13:40～	閉会式 表彰式		

※上記時間帯ならびに予選の会場割振り番号(立順)については、申し込み状況と進行状況により変更する場合がありますので注意してください。※全都道府県団体・個人フルエントリーで計算しています。

※第3控までに選手及び監督が確認できない場合は失権となります。

※招集の開始時間は原則として各競技の開始ならびに再開の15分前とします。

※団体 3位は2チーム、5位4チーム。

#### 4. 受付について

以下の時間帯で受付を行うこと。大会プログラム及び選手章等を配付する。  
男子と女子と分散受付・分散入場とする。（コロナ感染防止のため）

1日目 受付会場 愛知県体育館 第2競技場 入口

男子；8：00～8：30

女子；12：00～12：30

2日目 受付会場 愛知県体育館 第2競技場 入口

・8：00～8：30

#### 5. 公開練習／巻藁について

<公開練習>

大会前日の公開練習は実施しない。

<巻藁会場>

選手控え室と同じ場所となることから安全には十分配慮すること。

8月 8日（月） 8：30～15：00

8月 9日（火） 8：30～12：00

#### 6. 監督会議／事前質問書について

日程の都合により監督会議は行わない。

質問がある場合は、巻末（P16）事前質問書にて7月31日（日）までに提出のこと。

質問の回答は受付時に参加全団体へ質問事項回答書として配布するので参照のこと。

#### 7. 式典について

##### (1) 開会式

8月 8日（月） 8：50から 第1会場 射場 で実施。（選手の代表として男子のみで実施）

参加者は各学校代表者1名程度とし、服装は弓道衣（白筒袖・袴・白足袋）とする。

参加地域ブロックごとに整列

\*矢渡しは実施しない。

##### (2) 閉会式

8月 9日（火） 競技終了後、第1会場 射場 にて行う。

入賞選手及び監督は競技終了後速やかに射場控に集合し競技役員の指示に従うこと。

選手は弓道衣（白筒袖・袴・白足袋）を着用し参加すること。

##### (3) 式次第

開会式	閉会式
1. 開式通告	1. 開式通告
2. 開会宣言	2. 成績発表
3. 大会会長あいさつ	3. 表彰
4. 選手宣誓（地元の代表選手）	4. 大会会長あいさつ
5. 閉式通告	5. 閉会宣言
	6. 閉式通告

※式典の次第は検討中のため、変更となる場合があります。

## 8. 競技について

### (1) 団体競技

①射場区分 予選；2会場3射場で実施 決勝；2会場2射場で実施する。

②制限時間 予選・決勝ともに1立 7分30秒以内とする。

ア) 制限時間の計時は、放送系の「始め」の合図により開始する。

イ) 制限時間30秒前に予鈴（1音）、制限時間超過時に本鈴（2音）で合図する。

※予鈴、本鈴については放送にて実施する。放送係が計測係を兼ねる。

ウ) 本鈴と同時に射離した矢は無効とする。

エ) 制限時間超過後に射離した矢は無効、残った矢は失権とする。

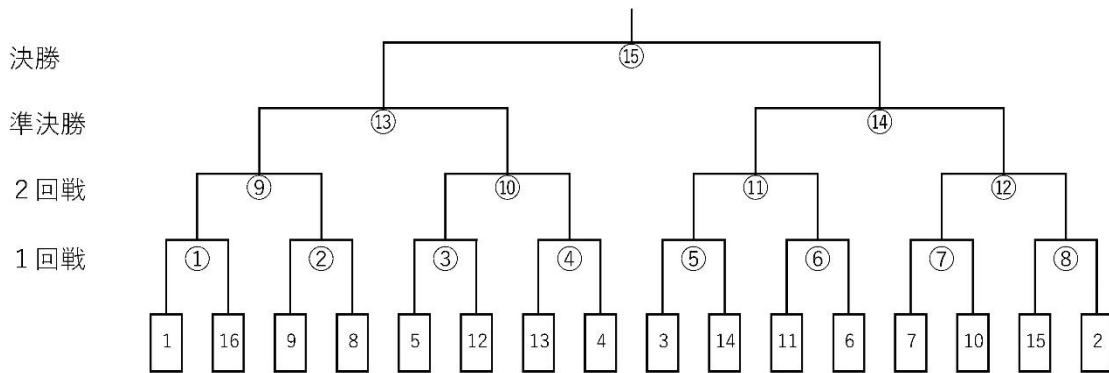
オ) 射場審判委員から行射停止指示が出た場合は、制限時間の規定を適用しない。

カ) 自団体内に起因する事故（弦切れ処理等）の場合は、制限時間内で行う。

キ) 同中競射については制限時間を設けないが、行射の前後動作が殊更に間延びしないこと。

### ③決勝トーナメントの組み合わせについて

決勝トーナメントの組み合わせは、抽選会を行わず、予選順位により決定することとします（下図参照）。同的中の場合の順位は、予選立番号の小さい方を上位とします。



決勝トーナメント組み合わせ表

※1 四角内数字は予選での順位を示し、丸で囲った数字は、トーナメント立順を表します。

※2 例；①組合せの場合、左側のチーム1が第一射場、右側のチーム16が第二射場となります。

②以降は同じ考え方で運行します。

ア) 決勝トーナメントの組み合わせが確定次第、会場設定のトーナメント表に掲示します。

イ) 1回戦については、まず①\*②が第1会場、③\*④が第2会場で競技し、その後に⑤から⑧が同様に第1会場、第2会場で競技します。男子1回戦の終了後、女子1回戦を同様に実施します。射場の入場は進行の指示に従い、競技は館内放送の「始め」で第1会場、第2会場が同時に実施します。第2回戦からは男子が第1会場、女子が第2会場で実施します。決勝は男子・女子ともに第1会場で実施します。

ウ) 前立が競技している時、次の立のチームは第3控えから第2控えに移動し、待機となります。前立の勝敗決定の宣言が終了し、退場したのちに、次の立の選手が入場となります。

ただし、第1会場、第2会場のどちらかで同中競射になった場合は、その競技が終了するまで控えで待機となります。

エ) 競技進行状況により、開始時間が前後する場合があります。進行状況を確認し、招集に遅れないようお願いします。

### (2) 個人競技

①射場区分 予選は3人立3射場、決勝は3人立2射場に分割して使用する。

②制限時間 特に設けないが、間伸びしないように各自が注意すること。

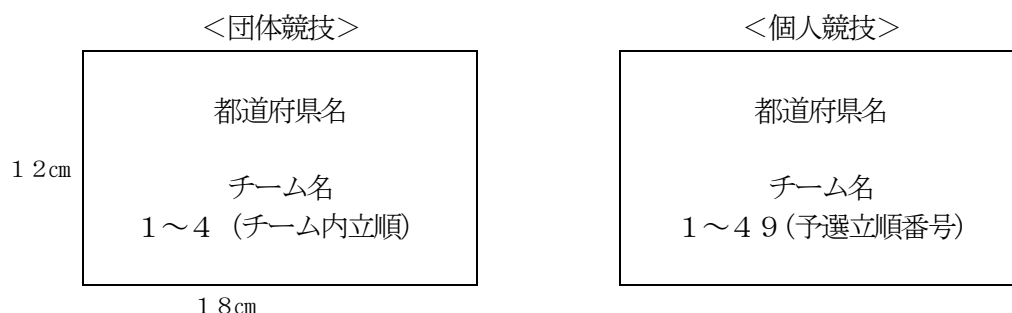


(3) 行射について

- ①一手を持って行射するときは、取矢を行うこと。
- ②次の矢は無効となり、「はずれ」として処理する。矢番え完了（矢番えた後、右手を腰にとった時点）後に、筈が弦から外れた場合、打起し開始後に、射直した場合。
- ③筈の破損による矢の交換は、矢番え完了前までは認める。矢を交換する際には選手が挙手で進行委員に申し出ること。
- ④矢が幕に刺さったり横になったりした場合、団体競技では他の射場に、個人競技では他の的に影響を及ぼさない限り競技を中断し矢取りを行わない。
- ⑤選手は四つ矢のほか替矢2本を準備すること。団体競技の決勝トーナメントにおける同中競射の1本目は替矢を使用する。
- ⑥弦切れの場合は、進行委員が替弦を張る。
- ⑦前の選手より先に射離した場合は、射場審判委員が無効を宣言し、「はずれ」として処理する。ただし、射位において前の選手が持矢を棄権した場合は、この限りではない。  
※予選；各射場における的中表示はしない。行射終了時の的中表示をする。  
※決勝トーナメントについては的中表示を提示する。

(4) ゼッケンについて

- ①選手はゼッケンを作製し、着用すること。
- ②ゼッケンのサイズは、縦12 cm×横18 cmとする。（下記図参照）
- ③ゼッケンは白地とし、文字の色は、原則として男子は黒色、女子は赤色を使用し『都道府県名・チーム名・立順（個人は予選立順番号）』を明記すること。
- ④個人競技の予選立順番号は、全日本弓道連盟ホームページにて確認のこと。



(5) 弓具点検について

- ①大会当日、第3控にて弓具点検を実施する。事前に点検し、必要に応じ修理を行っておくこと。違反した場合は、失権と判定する。ただし修正されればこの限りではない。
- ②弓道競技規則第20条〔弓具の規定〕、第21条〔服装の規定〕は、前掲にて確認すること。
- ③躰止めは危険防止のため使用を控えること。
- ④髪の毛の長い選手については、危険防止のためゴムなどで束ねておくこと。
- ⑤着装（特に帯や紐等）は正しく行うこと。また、選手章はゼッケンの下に付けること。

(6) 立射・取矢免除申請

事情により立射を希望する場合、取矢免除を希望する場合は、所定の用紙に必要事項を記入の上、7月31日（日）までに、全日本弓道連盟宛に送付すること。

なお、万一、上記の期日以降に、不測の事態が発生し、立射を希望する場合、取矢免除を希望する場合は、全日本弓道連盟まで連絡を行うこと。大会期間中に発生した場合は受付まで申し出ること。

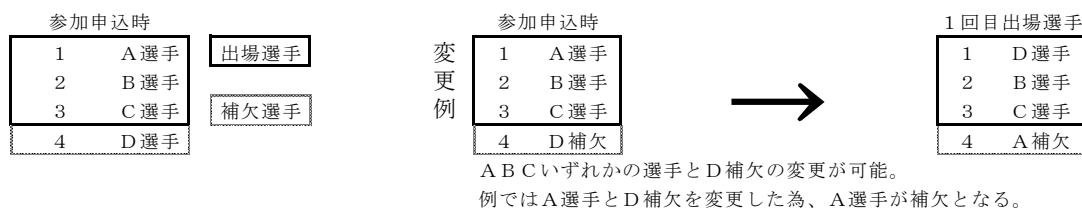
(7) 団体競技出場選手変更・交代及び監督の変更について

- ※選手＝参加申込み時に登録を行った選手4名の中で、変更・交代を行うことができる。
- ※監督＝参加申込み時に登録を行った監督以外の方を監督に変更することができる。

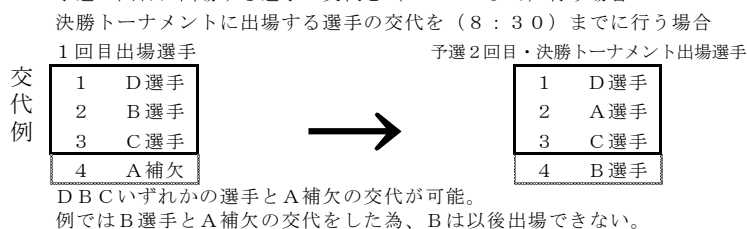
本手引きに掲載の所定の用紙に必要事項を記入の上、受付に提出すること。

- ・団体競技 ア) 選手の変更は、8月8日(月)は男女ともに受付終了時間までとする。  
イ) 選手の交代は、8月8日(月)予選2回目第4控え招集までとする。  
もしくは8月9日(火)は8:45までとする。  
※決勝トーナメント開始後(決勝トーナメント中)は選手の交代はできない。  
ウ) 監督の変更は、両日とも8:45までとする。
- ・個人競技 ア) 監督の変更は、両日とも8:45までとする。

予選1回目開始前(8:30まで)に選手変更を行う場合



予選2回目に出場する選手の交代を(8:30まで)行う場合



## (8) 監督の代行について

複数種別の参加で、出場時間が重なり登録の監督が入場できない場合に限り、補欠選手等を監督の代行として入場することを認める。但し、受付時に配布される監督章を必ず着用すること。

## 9. 競技運行について

### (1) 団体競技

#### ①予選

- ・選手は進行委員の指示に従い、会場に入場。(原則として前の立、落の3本目の弦音)  
本座位置の椅子で着席し、放送係の「起立」「始め」の合図で揖をして射位に進む。  
行射後は順次射場単位で退場すること。
- ・予選通過決定の同中競技においても上記と同様に行う。

#### ②決勝トーナメント

- ・選手は進行委員の指示に従い射場に入場する。  
(原則として前立の勝敗の宣言が終わり退場後とする)  
前立の退場後、本座位置の椅子に着席 放送係の「起立」「始め」の合図で揖をして射位に進む。  
行射後は本座の椅子に着席し、進行委員の勝敗宣言の後、「退場」の合図に従い退場する。

### (2) 個人競技

#### ①予選 第2控え位置

- ・選手は進行委員の指示に従い第2控えを起立し入場。(原則として前立の落の3本目の弦音)  
入場後は、本座で跪坐をして待ち、放送係の「始め」の合図で揖をして射位に進む。  
3人を1つのグループとし行射進行し、行射後は順次退場すること。
- ・予選の結果、決勝進出者が入賞枠の8名に満たない場合は、次位の的中者による遠近競射で順位を決める。遠近競射は男女とも8日(月)、個人予選2回目終了後に行う。
- ・遠近競射の競技方法については、進行委員の指示に従うこと。

- ②決勝は、原則として、射詰競射を1射ずつ行うこととする。  
男子第1会場、女子第2会場とする。  
各選手は、予備矢を会場入り口の矢箱に入れる。
- (3) 監督の入場要領について
- ①団体競技
- ・監督は自チームの3番に続き入場し、選手の椅子着座と同時に指定席に着座すること。  
予備弦、予備矢を持参して入場すること。
- ②個人競技
- ・選手の列・監督の列に分かれ入場。監督は椅子の後ろ側を通り選手の着座と同時に着座すること。

## 10. 注意事項

- (1) ぎり粉、ふで粉の持ち込み・使用は第2控えまでとします。
- (2) 1階フロア内には関係者（選手・監督・引率・役員等）以外の者の立ち入りを禁止する。  
特に、選手・監督控室はセキュリティ確保の為、受付時に配布する「選手章」及び「監督章」着用する。  
また、控え室は関係者以外の出入りを禁止する為、移動の際（私服時含む）も必ず「選手章」及び「監督章」「引率ID」を着用すること。それ以外の者は入館できない。
- (3) 控室及び観覧席は地域ブロック別で指定。場所取りは禁止する。特に観覧席は譲り合って使用すること。弓張りについては所定の位置以外は禁止とする。
- (4) 貴重品等は各自で管理すること。会場内での物品の紛失については、一切責任をもたない。届けられた落し物については大会本部で保管する。
- (5) 監督へのお願い事項
- ・競技中、弦切れが発生した場合、すぐに弦巻から弦を外し、射場委員に渡す
  - ・決勝トーナメント等、同中競射を実施する場合、予備矢を射場委員に渡す
  - ・弓および矢の取り間違い紛失などが無いように管理徹底してください。  
万一、紛失・取り間違いが発生し、競技に支障が発生しても保証は致しかねます。
  - ・監督・選手のマスクは自己管理して頂きますようお願いいたします。第2控えから各射場に移動する時、選手はマスクを外して頂きます。
  - ・弓具修理店はないため、矢尻および箭の予備については各学校にてご準備願います。
  - ・選手が使用後のぎり粉、ふで粉の管理をお願いします。

## 11. その他

- (1) 体育館敷地内は禁煙である。
- (2) 実行委員会で許可した写真業者が競技の撮影を行う。
- (3) コロナ感染防止・健康管理チェックについて…健康管理シートは別紙参照 P14
- (4) 宿泊問合せ先  
宿泊・弁当の申込について詳細は別途資料を展開します。
- (5) 開催当日、台風等の影響により午前6時現在で警報が発令中の場合は開催を中止することもあり得る。（注；大会の延期はしない）  
➡本情報展開方法について別途案内する予定。

## 12. 問合せ先について

お問合せは、可能な限りメールにてお願いいたします。

第19回全国中学生弓道大会実行委員会 [taikaikanri@kyudo.jp](mailto:taikaikanri@kyudo.jp)

## 令和 4 年度全国中学生弓道大会

## 監督・選手及び保護者 自己管理事項

## 選手・関係者の方に守っていただきたいことの基本事項

- 体育館内ではマスクを着用すること
- こまめな手指消毒
- 人との距離をとること
- 会話を控える、大声を出さない
- 飲食時は黙食すること

健康観察票へ毎日記入し、自己の体調管理をしっかりと行うこと

- 大会当日からさかのぼり 7 日前から検温（朝）を実施し、検温記入表に記入すること。  
\*大会当日、学校ごとに取りまとめ受付へ提出すること。
- 健康状態を観察（検温、症状観察）すること。
- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。
  - 体調が良くない場合（発熱、せき、咽頭痛などの症状がある場合）
  - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいる場合
  - 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国や地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- 大会参加時は、マスク、体温計（宿泊者のみ）を持参すること。
- 大会終了後も、7 日間の検温（朝）・健康観察を行うこと。
- 大会終了後 14 日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合や、大会前後に新型コロナウイルス陽性者への濃厚接触があったと思われる場合は、自宅住所を管轄する保健所に連絡して指示を仰ぐこと。また、当連盟に対して速やかに報告すること。その際、他の選手等へ当該情報を提供する場合があることを了承しておくこと。

**連絡先：全日本弓道連盟 03-6447-2980**

感染防止について自己の行動管理をしっかりと行うこと

- 健康観察を行うこと。
- 感染リスクが高まる「3密（密閉空間・密集場所・密接場面）」を避けること。
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。  
特にマスク着脱時は目鼻口に触れないこと。
- 感染防止のために主催者、施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従うこと。

**会場内における自己の行動管理もしっかりと行うこと**

- 大会当日は、以下の対策を行うこと。
  - 大会当日は、更衣室の密防止のため、可能な限り弓道衣に着替えを済ませての来場が望ましい。更衣室を利用する場合は入室人数を守ること。
  - 会場内で体調がすぐれない症状（発熱や呼吸困難、けん怠感等）が表れた場合には、速やかに救護室に相談すること。
  - 会場入館時に手指の消毒、検温を行うこと。37.5度以上あった場合は入館できない。入館後の退館は認めるが、その後、再入館する際も、手指の消毒、検温を行うこと。
  - 原則として、行射時以外は常にマスクを着用すること（更衣室・選手控室・射場控等）。
  - 体育館入館から退館時までの全ての場面において、人との距離をとって行動し、会話は控えること。選手間での会話は特に注意すること。（マスクを外しての会話はしないこと）。
- 射場控等での注意点について
  - 射場控にて外したマスクは、主催者側で準備するマスクケースに入れ、射場控のイス等に直接置かないこと。選手控室の机にも同様に外したマスクを直接置かないこと。
  - タオル等も直接、床に置かずに持参した袋等を使用すること。
- 観覧席での注意点について
  - 他の参加者や観覧者との距離を最低1m以上とること。
  - 会話を控え、大きな声での声援を送らないこと。拍手で応援をお願いします。
- トイレについて
  - 手洗いは、しっかりと行うこと（設置の使い捨てペーパータオルを利用すること）。
  - 利用人数を守り、密にならないように、配慮すること。
- 飲食について
  - 観覧席以外での飲食は禁止とする。更衣室での飲食も禁止する。
  - 飲食前後に手洗い、手指消毒を行うこと。
  - 飲食直前までマスクを着用すること。
  - 飲食物は、必要に応じて各自準備すること。
  - 感染予防のため、人との距離を保ち、単独で黙食を徹底すること。飲食中に会話する必要がある場合は、マスクを再度着用すること。
- ゴミの廃棄について
  - 使用済みのマスクや鼻水や唾液等が付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉し各自持ち帰ること。

**保護者等観覧される方へ**

- 大会前後7日間、健康観察（検温、症状観察）を行ってください。
- 大会当日はマスク着用で来場し、入館時は手指消毒・検温を行ってください。
  - \*37.5度以上あった場合は入館できません。
- その他は、選手・関係者が守るべき自己管理事項に準じてください。
- 観覧席は指定区域で間隔をとって対応をお願いします。

皆様のご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

# 提出用

## 健康観察票

新型コロナウイルスの感染症対策のため、健康観察票のご記入をお願いいたします。  
本用紙は大会当日、学校ごとに取りまとめ受付へ提出してください。  
皆様のご理解とご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。

□大会 7 日前から毎朝検温し、下記に記入してください。

□体調について①～⑧の内容に該当する時は○、該当しない時は✓を入れること。

- ①平熱を超える発熱(おおむね 37.5℃以上)
- ②せき、のどの痛み等、風邪の症状
- ③だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
- ④嗅覚や味覚の異常
- ⑤体が重く感じる、疲れやすい
- ⑥新型コロナウイルス感染者との濃厚接触
- ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
- ⑧過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触

日付	曜日	体温(朝)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
8月1日	月	℃								
8月2日	火	℃								
8月3日	水	℃								
8月4日	木	℃								
8月5日	金	℃								
8月6日	土	℃								
8月7日	日	℃								

氏名 : \_\_\_\_\_

予選立順 : \_\_\_\_\_

都道府県 : \_\_\_\_\_

学校名 : \_\_\_\_\_

## 会場案内

ドルフィンズアリーナ愛知県体育館

〒460-0032

TEL：052-971-2516

名古屋地下鉄「名古屋市役所」より徒歩約5分。

☆会場案内 アクセス>施設案内



☆最寄り駅 市役所駅（名古屋市営地下鉄名城線）7番出口より徒歩5分

>名古屋駅から（約20分 JR・名鉄・近鉄共通）

○地下鉄桜通線（徳重行）→久屋大通駅乗り換え名城線（右回りまたは大曽根行）へ乗り換え→市役所下車 7番出口より徒歩5分

○地下東山線（藤が丘行）→栄駅で名城線（右回りまたは大曽根行）へ乗り換え→市役所下車 7番出口より徒歩5分

>タクシー利用

○太閤通口（名古屋駅西口）から乗車 約20分 約1,600円

○桜通口（名古屋駅東側）から乗車 約15分 約1,500円

◎当館には、駐車場はございません。

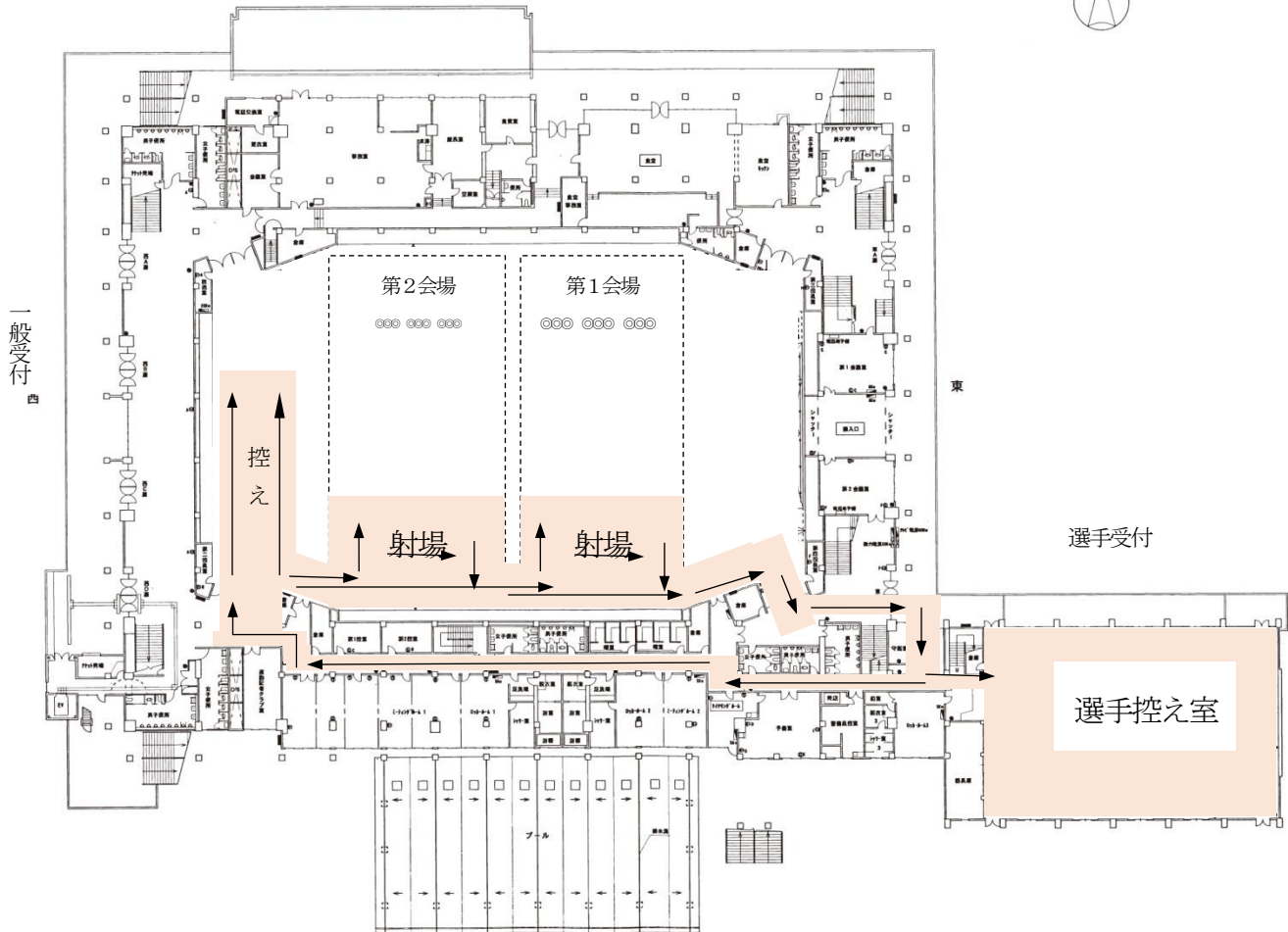
お車でのお越しの方は名古屋城二の丸駐車場もしくは、名古屋城正門前駐車場にお停めください。※ともに有料（30分180円）駐車場に関しては、名古屋城振興協会

TEL：052-231-1655 にお問い合わせください。

# 会場レイアウト

ドルフィンズアリーナ愛知県体育館

愛知県体育館 1階平面図





## 第19回全国中学生弓道大会

## JOCジュニアオリンピックカップ大会

## 事前質問書

1. 質問がある場合は、質問事項を記入して期日までに全日本弓道連盟まで送付ください。
2. 質問の回答は全団体に周知する必要があると判断した場合は、受付時に参加全団体へ質問事項回答書として配布する。

都道府県名	
チーム名	
監督名	
連絡先	携帯電話番号（自宅電話番号） E-mail

## 1. 質問事項

第19回全国中学生弓道大会実行委員会 宛 / FAX: 03-6447-2981提出期限: 令和4年8月1日(月) 必着のこと

令和 年 月 日

## 立射申請書・取矢免除申請書

競技委員長 殿

( ) 下記選手の立射を申請します。

( ) 下記選手の取矢免除を申請します。

男子の部・女子の部 (該当する箇所に○印)

個人競技・団体競技 (該当する箇所に○印)

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

参加申込時立順 個人競技の場合は不要	選手名	申請理由
番	ふりがな	

担当	全日本 弓道連盟	総務委員長	競技委員長
確認者印 又は 署名			

令和 年 月 日

# 選手変更届

競技委員長 殿

下記のとおり団体の選手変更をします。

男子の部・女子の部（該当する箇所には○印）

予選立順 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

提出先：受付

月 日（ ） : まで

選手の立順	旧選手名（変更前）	新選手名（変更後）
番	選手名	選手名

受付日時 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

受付者 \_\_\_\_\_

令和4年 月 日

## 選手交代届

競技委員長 殿

下記のとおり選手を交代します。

男子の部・女子の部（該当する箇所には○印）

予選立順 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

提出先：受付

月 日（ ） 予選二回目招集まで

月 日（ ） : \_\_\_\_\_ まで

選手の立順	旧選手名（交代前）	新選手名（交代後）
番	ふりがな	ふりがな

受付日時 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_ 時 \_\_\_\_\_ 分

受付者 \_\_\_\_\_

令和4年 月 日

## 監督変更届

競技委員長 殿

下記のとおり監督を変更します。

男子の部・女子の部（該当する箇所に○印）

個人競技・団体競技（該当する箇所に○印）

予選立順 \_\_\_\_\_

都道府県 \_\_\_\_\_

チーム名 \_\_\_\_\_

監督名 \_\_\_\_\_

提出先：受付

両日とも : まで

旧監督名（変更前）	新監督名（変更後）
ふりがな	ふりがな

受付日時 月 日 時 分

受付者 \_\_\_\_\_